

安全にお使いいただくために

●必ずご使用前に本紙をよく読み、保管してください。●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取り扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

DC3600R

事故が起こったときは…

事故発生時の録画データなど、重要なデータが上書きされないように、下記の手順でデータを保護してください。

⚠ 周囲の安全を確認してから作業すること。

1 下記のいずれかの方法でカメラの録画を停止させる。

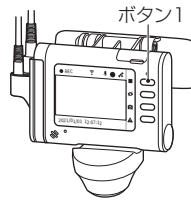
- 録画面でボタン 1 を長押しして SD 取り出しモードにする。

電源ケーブルで接続している場合

- 車両のキースイッチを OFF にする。
- カーソケットから電源ケーブルのプラグを抜く。

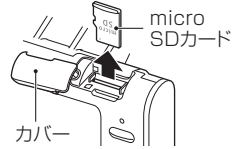
駐車監視オプションで接続している場合

- 駐車監視オプション本体の駐車監視スイッチを OFF にしたうえで、車両のキースイッチを OFF にする。



2 microSD カードを取り出す。 取り出した microSD カードの取り扱いにご注意ください。

📁 万が一に備えて予備の microSD カードを常備しておくことをお勧めします。



本書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。各々の定義（意味）を十分に理解されたうえで、お使いください。

- ⚠ 誤った取り扱いをすると、死亡や重症などを負う可能性が想定されるもの
- ⚠ 誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されるもの
- ⚠ 誤った取り扱いをすると、法律違反となる可能性が想定されるもの

📁 取り扱いにおいて知っていると有益な情報

安全上お守りいただきたいこと

- ⚠ 破損や故障など、異常な状態のまま使用しないこと。発煙、異音、異臭などが発生した場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災の原因となります。
- ⚠ 走行前にカメラの取り付け状態を確認すること。脱落、落下などにより、ケガや事故の原因となります。
- ⚠ 動作確認のための急発進や急ブレーキは行わないこと。ケガや事故の原因となります。
- ⚠ 使用が禁止されている場所では使用しないこと。機器などの誤作動の原因となるおそれがあります。
- ⚠ 電源ケーブルや端子部のほこりや汚れは必ず取り除くこと。接触不良などによる感電や火災の原因となります。
- ⚠ 本製品は防じん、防滴、防水仕様ではありません。水をかけたり、濡れた手で操作したり、異物を入れたりしないこと。感電や火災、故障の原因となります。
- ⚠ 本製品内に結露が生じた場合は、使用しないこと。特に急に温度が変化すると、結露が発生しやすくなり、故障や発熱の原因となります。
- ⚠ 本製品の穴やすき間にピンや針金などの金属を入れないこと。感電や故障の原因となります。
- ⚠ 運転者は走行中に本製品を操作および注視しないこと。運転者が走行中にカメラなどの画像表示用装置を注視することは、法律で禁止されています。また事故の原因となるので走行中は絶対に操作および注視しないこと。
- ⚠ 本製品は日本国内でのみ使用が認められています。それ以外の国や地域では法律に抵触するおそれがあるので使用しないこと。
This product is for use only in Japan.
- ⚠ 分解や修理、改造は行わないこと。感電や火災、故障の原因となります。

取り付けについて

- ⚠ エアバッグの動作を妨げる場所への取り付けや配線はしないこと。動作したエアバッグによる事故やケガ、またはエアバッグが正常に動作しない場合があります。
- ⚠ 取り付けは、取り付けガイドに従って正しく行うこと。また、走行時や検査時にカメラ本体をマウントから取り外さないでください。誤った取り付けは道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また事故の原因となります。
- ⚠ リヤガラスが可動する車両には取り付けないこと。
- ⚠ カメラの粘着テープは、ガラス面に貼り付けること。
- 📁 リヤガラスがプライバシーガラスの場合やフィルムを貼っている場合は、映像が暗くなることがあります。
- 📁 ハイマウントストップランプや後続車のライトにより映像が見づらくなることがあります。
- 📁 ラジオやカーナビなど、他の電化製品と電波干渉する場合があります。電波干渉した場合はカメラ位置や電源ケーブルの取り直しを変更してください。

電源について

- ⚠ 電源ケーブルのプラグは単独で使用する。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ⚠ 電源ケーブルを外す際は、必ずコネクタ部分を持って行うこと。電源ケーブルが損傷すると、感電および火災の原因となります。
- ⚠ DC12V / 24V マイナスアース車以外では使用しないこと。故障の原因となります。
- ⚠ 本製品に備わっているドライブモードと駐車監視モードは、電源供給源を認識することで切り替わります。そのため、市販の USB ケーブルや USB 電源ソケットを使用すると動作しない場合があります。必ず本製品の付属品またはオプション品を使用すること。
- 📁 輸入車など一部の車両では、エンジンを停止してもカーソケットに常時電源が供給されるものがあります。その場合は、降車時にカーソケットから電源ケーブルのプラグを抜いてください。
- 📁 カメラの起動後、録画の開始まで最大約 1.5 秒かかります。（ただし、カメラ本体が動作温度範囲を超えている場合、さらに時間を要します。）
- 📁 一部のアイドリングストップ車では、再始動時の電源を確保するため、供給電圧が低下することがあります。これにより本製品への電源供給が停止する場合があります。

カメラについて

- ⚠ 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないこと。
- ⚠ 磁石などの磁気を帯びたものを近くに置かないこと。故障やデータ損傷の原因となります。
- ⚠ ダッシュボードなど温度が急激に上昇する場所に放置しないこと。変形および火災の原因となります。
- ⚠ 長時間の使用によりカメラ本体が高温になった場合は、直接手で触れないこと。やけどの原因となります。
- ⚠ お手入れの際、研磨剤入り洗剤、アルコール、有機溶剤入りの洗浄液を使用しないこと。
- ⚠ レンズや液晶画面に直射日光を長時間当てないこと。レンズや液晶画面が高温になると故障の原因となります。
- ⚠ 液晶画面を強く押ししたり、爪やペンなど先の尖ったもので操作したりしないこと。液晶画面の故障や破損によるケガの原因となります。
- ⚠ カメラ本体のアップデート中は電源を切らないこと。故障やデータ損傷の原因となります。
- 📁 レンズ表面に汚れが付着したときは、付属のレンズクロスで拭き取ってください。
- 📁 本製品は電子部品の特性上、使用条件によりカメラの表面および内部温度が高くなる場合があります。クイックガイド（15 ページ）に記載の動作温度範囲を超えた場合、製品保護のため動作を停止します。動作が停止した場合は、カメラが動作温度範囲に戻ってから使用を再開してください。
- 📁 液晶画面の特性により、極端な高温や低温の状況では画面の表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えたりすることがありますが、故障ではありません。
- 📁 液晶画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。
- 📁 液晶画面の特性により、画面に小さな点やスジ状の模様、明るさのムラなどが見えることがありますが、故障ではありません。
- 📁 偏光サングラス使用時は、液晶画面の表示が見えなくなることがあります。
- 📁 液晶画面の特性により、一部の画素が点灯しない場合や常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

GPS などについて

- ⚠ GPS などの電波が受信できない場所では、車両の位置や速度を記録することはできません。
- ⚠ GPS などの電波は、周囲の状況や地理的要因によって受信しにくい場合や受信できない場合があります。
- ⚠ GPS 衛星はアメリカ国防総省によって管理されており、故意に精度が変更されることなどがあります。
- ⚠ 本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機などを設置しないでください。それらの機器や本製品が誤作動を起こす可能性があります。
- ⚠ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ⚠ 周囲に障害となる物を設置しないでください。GPS などの電波受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⚠ カメラの起動後、GPS などの電波を受信するまでに時間がかかります。受信環境、気象条件、車両条件、製品位置により数十秒から数分かかる場合があります。
- ⚠ フロントガラスにコーティングなどが施された車両は、GPS などの電波を受信しにくい場合があります。

録画について

- ⚠ 記録した映像やデータは、使用方法によっては他人の法的な権利を侵害する可能性があります。
- ⚠ 本製品で記録した映像やデータの内容、それによって起因した事項については、当社は一切責任を負いません。
- ⚠ 本製品は事故の証拠としての効力およびナンバーや車種、色などの特定を保証するものではありません。
- ⚠ 本製品はすべての状況下における録画を保証するものではありません。
- ⚠ 録画性能や記録時間などは被写体や周辺環境などに影響され、変動する場合があります。
- ⚠ 使用状況によっては、他の装備品が本製品の録画の妨げになることがあります。

駐車監視モードについて

- ⚠ 駐車監視モードにする場合は、必ず本製品が指定する駐車監視オプションを使用すること。他のコードなどで電源に直接配線すると、車両のバッテリー上がりや故障の原因となります。他のコードなどを使用した配線は絶対にしないこと。
- ⚠ 駐車監視モードによる車両のバッテリー上がりに関して、当社はその責任を一切負いません。
- ⚠ 夜間の駐車監視時に周囲の明かりが無く光源不足の場合は、録画した映像が不鮮明だったり、録画できないことがあります。
- ⚠ 一部の車種（主に輸入車）では、駐車監視オプションを接続する常時電源線を間違えやすいため、接続後はしばらく様子を見てカメラが正常に作動することを確認してください。間違えて接続すると設定時間よりも早く駐車監視を終了する場合があります。

microSD カードについて

- ⚠ microSD カードは付属品または専用のカード（品番：DC3 / 4 / 5）を使用すること。その他のカードを使用すると、データ損傷やデータを記録できない場合があります。
- ⚠ 長時間の使用により microSD カードが高温になった場合は、直接手で触れないこと。やけどの原因となります。
- ⚠ 油がついた手や濡れた手で microSD カードに触れないこと。データ損傷や故障の原因となります。
- ⚠ カメラの電源が入っているときは、SD 取り出しモード以外では microSD カードの挿入／取り出しはしないこと。データ損傷や故障の原因となります。
- ⚠ microSD カードを鋭利な物で傷を付けたり、強い衝撃を与えたりしないこと。データ損傷や故障の原因となります。
- ⚠ microSD カードのスロット内に異物を入れたり、端子部分に触れたりしないこと。データ損傷や故障の原因となります。
- ⚠ microSD カードは、必ず正しい向きでカチッと音がするまで差し込むこと。間違った向きで無理に差し込むとデータ損傷や故障の原因となります。
- ⚠ microSD カードにシールやラベル等を貼らないこと。データ損傷や故障の原因となります。
- ⚠ 以下の場合、microSD カードをフォーマットしてください。
 - microSD カード内のデータを全て消去したいとき
 - カメラからフォーマットを促す通知があったとき
- ⚠ microSD カードは消耗品です。使用可能期間や書き込み可能回数を超えると記録域の一部が損傷して正常な録画ができなくなることがあります。使用状況や環境により異なりますが、1 日 2 時間程度使用する場合で約 1 年半を目安に交換することをお勧めします。
- ⚠ 必要なデータは、必ずパソコンなどにバックアップしてください。microSD カードのデータは上書きや消去されます。
- ⚠ microSD カードは、清潔な乾燥した涼しい場所で保管してください。

その他

- ⚠ 記録した映像やデータは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- ⚠ 付属のステッカーはフロントガラスや運転席・助手席のサイドガラスには貼り付けられないこと。フロントガラスや運転席・助手席のサイドガラスに貼ると保安基準違反となります。また、強粘着のため塗装面への貼り付けにはご注意ください。
- ⚠ サンシェード等の日除けを使用する際は、フロントガラスとサンシェードの間にカメラを挟み込まないように設置すること。熱がこもり、カメラの故障や脱落の原因となります。
- ⚠ 本製品に貼り付けてあるラベルをはがさないでください。保証を受けるときなど、製品確認の際に必要な場合があります。

保証規定

保証対象 メインカメラ・リヤカメラ ※消耗品・付属品を除く

- 保証期間内(お買上げ日より3年間)に、正常なご使用状態において、万一故障した場合には無料で修理または交換いたします。
※取り付けや取り外しの作業費用はお客様のご負担となります。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料になります。
 - (イ) 本保証書のご提示がない場合
 - (ロ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ハ) お買上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ニ) 外部から水分などの浸入の形跡が見られる場合
 - (ホ) 火災、地震、水害、異常電圧、公害、指定外の使用電源(電圧・周波数)及びその他天災、地変などによる故障及び損傷
 - (ヘ) 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。但し、お買上げ日、販売店名はレシートで可
 - (ト) 外観部分の損傷
- 不正改造車に取り付けされた場合は保証対象外です。
- 製品・部品・付属品を紛失された場合は保証対象外です。
- 他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外です。
- 修理・交換は、必ず本保証書をご提示のうえ、お買上げの販売店またはカーメイトサービスセンターにご依頼ください。
- 本保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only for service in Japan.

株式会社カーメイト

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11 TEL. 03-5926-1212

保証書

本製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本保証書記載内容(左記参照)によりお買上げの販売店、またはカーメイトサービスセンターが受付いたします。

品番	ダクシオン 360D (DC3600R)		
お買上げ日	年 月 日 ※お買上げ日がわかるもの(領収書・レシートなど)と一緒に保管してください。	無料修理保証期間	お買上げ日より 3年間
お客様	ご住所 〒		
	電話番号		
	ご芳名 様		
販売店名住所	電話番号 印		
故障データ	取付車種:	グレード:	年式:
	症状:		

ご愛用者登録をしてアンケートに答えると
抽選でプレゼントが当たる!

詳しくはWEBサイトをご覧ください。
<https://www.carmate.co.jp/club/>

カメラ 品番: DC3600R



DC3600R

dAction360

取り付けガイド

詳しい取扱説明書は
こちら



●必ずご使用前に本紙をよく読み、保管してください。
●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取り扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

←1→

セット内容

●メインカメラ

●リヤカメラ

●32GB
microSDカード

●電源ケーブル (約 3.9m)

●リヤカメラケーブル (約 8.9m)

●六角レンチ

●六角レンチ
延長パイプ

●脱脂クリーナー

●ステッカー

●取り付けガイド (本書)

●クイックガイド

●安全にお使いいただくために

●レンズクロス

microSDカードは
メインカメラに
セットされています。

←2→

取付手順

1. 電源ケーブルをカメラに接続する。

⚠ 取り付けの際は、必ず本製品の付属品またはオプション品を使用すること。

🔌 駐車監視オプションを取り付ける場合は、電源ケーブルは使用しません。

メインカメラの接続

ケーブルカバーを下方向にスライドし、電源ケーブル、リヤカメラケーブル (L 型端子側) の順に差し込んでください。

電源ケーブル
リヤカメラケーブル (L 型端子)
ケーブルカバー
メインカメラ

リヤカメラの接続

ケーブルカバーを上方向にスライドし、リヤカメラケーブル (ストレート端子側) を差し込んでください。

ケーブルカバー
リヤカメラケーブル (ストレート端子)
リヤカメラ

2. 電源ケーブルのプラグを
カーソケットに差し込む。

カーソケット
プラグ

←3→

3. 車両のキースイッチを ON にし、カメラ本体の電源が入るか確認する。

🔌 カメラの電源が入ると LED が点灯し、液晶画面が表示されます。

4. 取り付け位置にメインカメラとリヤカメラをあてがい、ケーブル類の取り回しを確認する。

⚠ この段階ではカメラの粘着テープは貼り付けしないでください。

🚫 取り付け位置の条件を満たしていないと道路運送車両法の保安基準に違反するおそれがあります。必ず下記条件を満たす位置に取り付けること。

取り付け位置の条件と注意

●メインカメラマウントの取り付け位置は、フロントガラスの上部 20% の範囲内に入ること。(5 ページ 図 1)

●運転時の視界や操作を妨げないこと。

●ルームミラーやエアバッグの動作を妨げないこと。

●カメラのレンズがワイパーの拭き取り範囲内に入ること。

●ガラスにプリントされている熱線やアンテナなどに粘着テープが重ならないこと。

●安全運転支援システムなどのカメラを装着している場合は、その映像範囲内に本製品が映りこまないこと。

●フロントガラスと GPS アンテナの間にケーブルや金属物が無いこと。(5 ページ 図 2 の斜線部)

●安全運転支援システムなどを装着している場合は、それらの取扱説明書に従うこと。

●メインカメラから microSD カードを取り出すときに、車両の内装と干渉しないこと。(5 ページ 図 3)

●メインカメラの角度を調節するときに、付属の六角レンチが車両の内装と干渉しないこと。(5 ページ 図 4)

←4→

(図1)

メインカメラ
取り付け推奨位置

20%

フロント

メインカメラ
マウント

リヤ

リヤカメラ
取り付け推奨範囲

リヤカメラ
マウント

(図2)

GPS
アンテナ

フロント
ガラス

(図3)

天井

フロント
ガラス

SDカード

(図4)

六角レンチ

ピラー

六角レンチ

ルームミラー

←5→

5. メインカメラとリヤカメラをそれぞれの取り付け位置にあてがい、ボタン 3 で映像を切り替えて撮影範囲を確認する。

映像が切り替わると表示中の映像を示すアイコンも切り替わります。

アイコン	表示映像
F	フロント映像
R	リヤ映像
360	360 映像

表示映像アイコン

ボタン3

< 360 映像の確認ポイント >

⚠ 映像の妨げになる物の近くに取り付けしないでください。

▼不適切な取り付け位置：ミラーが邪魔で前席側方が映っていない

▼適切な取り付け位置：前席や側方が映っている

←6→

<フロント映像の確認ポイント>

⚠ 360 映像のうち、車両前方のみを「フロント映像」として高解像度で保存します。クリアに記録したい範囲がフロント映像で映っているか確認してください。

▼不適切な角度：上を向きすぎていて前方車両が映っていない

▼不適切な取り付け位置：ワイパーの拭き取り範囲外

▼適切な取り付け位置：ワイパーの拭き取り範囲内で前方車両が映っている

←7→

6. 撮影範囲に合わせてカメラの角度を調節する。

メインカメラの角度調節

メインカメラ側面のカバーを開け、付属の六角レンチで中のネジを緩めてレンズの角度を調節し、ネジを締めてください。

🔌 メインカメラ本体の角度を調節することも可能です。

付属の六角レンチで付け根部分のネジを緩めて角度を調節し、ネジを締めてください。

裏面につづく

←8→

リヤカメラの角度調節

ノブを緩めて角度を調節し、ノブを締め直してください。

リヤカメラのノブはリヤゲートの開閉の衝撃などにより緩む場合があります。定期的に緩みがないことを確認してください。

7. 角度が決まったら、車両のキースイッチを OFF にしてカメラの電源を切る。

8. リヤカメラからリヤカメラケーブルを取り外す。

9. 付属の脱脂クリーナーで取り付け位置の汚れや油分をよく拭き取り、乾燥させる。

＜9＞

10. メインカメラとリヤカメラをそれぞれの取り付け位置にしっかりと貼り付ける。

熱線やアンテナ、センターパイザーなどと粘着テープが重ならないように注意してください。

粘着テープの圧着ムラや気泡が無くなるように強く押し付けて密着させてください。

粘着力を安定させるため 24 時間以上放置してください。なお、粘着力が低下するため貼り直しはできません。

フロント

▼ 誤った貼り付け例：圧着ムラや気泡が入っている

▼ 正しい貼り付け例：均一に密着している

リヤ

▼ 誤った貼り付け例：粘着テープが熱線に重なっている

▼ 正しい貼り付け例：粘着テープが熱線に重なっていない

＜10＞

11. リヤカメラにリヤカメラケーブルを差し込み、車両のキースイッチを ON にする。

12. 撮影範囲を再確認し、必要に応じてカメラの角度を調節する。

ネジを緩めづらいときは、付属の六角レンチ延長パイプを六角レンチに挿し込んで使用してください。

ネジを締めるときは、六角レンチ延長パイプを使用しないでください。締めすぎるおそれがあります。

13. 車両のキースイッチを OFF にして、カメラに接続しているケーブルを外す。

＜11＞

14. 市販の配線止め金具や結束バンド等を使用し、ケーブルの取り回しを処理する。

ケーブルのコネクタ部に無理な力がかからないよう処理すること。

運転時の視界や操作の妨げにならないように処理すること。

ドアやリヤゲートの開閉などでケーブルを挟まないように処理すること。

リヤカメラケーブルはフロント側から取り回すと処理作業がスムーズに行えます。

15. メインカメラとリヤカメラのカバーを「カチッ」と音がするまでスライドさせる。

＜12＞

スマートフォン接続手順

1. スマートフォンに専用アプリをインストールする。

専用アプリは無料です。下記 WEB サイトからダウンロードしてください。

ダクシオン 360 オフィシャル HP 内「サポート」→「スマートフォン用アプリ&パソコン用ソフトのダウンロード」
https://daction.carmate.jp/support/app_pc/dc3600r.html

2. カメラの電源を入れ、無線 LAN を ON にする。

車両のキースイッチを ON にすると自動でカメラの電源が入り、無線 LAN も ON になります。

3. スマートフォンに「dAction360D_xxxxxxx」を登録する。

スマートフォンの設定画面で「Wi-Fi」を ON にして利用可能なネットワークから dAction360D で始まる SSID を選択し、パスワードを入力してください。

初期設定値
SSID： dAction360D_xxxxxxx
パスワード： 12345678

以上で接続手順は完了です。
専用アプリを起動し、接続されているか確認してください。
スマートフォンのスリープ状態などで接続が途切れた場合は、手順 3 に戻り、一度「Wi-Fi」を OFF にしてから再度 ON にして接続してください。

＜13＞

FAQ

電源が入らない	●電源ケーブルやプラグが正しく接続されていない。 電源ケーブルやプラグを正しく接続してください。 ●本製品の付属品以外のケーブルやオプション品を使用している。 本製品の付属品や本製品が指定するオプション品を使用してください。 ●カメラの動作温度範囲を超えている。動作温度範囲を超えると、カメラの破壊を防ぐため、動作を停止します。 カメラが動作温度範囲に戻ってから使用してください。 ●(駐車監視ユニットを取り付けている場合) 駐車監視ユニットが正しく接続、配線されていない。 駐車監視ユニットの配線を確認してください。
「リヤカメラ異常 接続を確認してください」という表示が出る	●リヤカメラケーブルが正しく接続されていない。 リヤカメラケーブルを正しく接続してください。
リヤカメラの映像に切り替わらない	●録画設定で「リヤカメラ」が OFF になっている。 録画設定で「リヤカメラ」を ON に設定してください。
リヤカメラの映像が録画されない	
液晶画面が消えてしまう	●初期設定では液晶表示時間は 3 分です。カメラの起動後 3 分で液晶画面が消えます。 その他設定で「液晶表示時間」を設定し直してください。
時刻がおかしい	●日付とタイムゾーンが正しく設定されていない。 その他設定「日付とタイムゾーン」で正しく設定し直してください。

＜14＞

位置情報や車両速度を取得できない	●屋内やトンネル内では GPS などを受信できません。また、GPS などの電波は周囲の状況や地理的要因によって、受信するまでに数十秒から数分かかる場合があります。 障害物のない見通しの良い場所で GPS などの電波を受信できるか確認してください。
衝撃録画が記録されない	●センサーが衝撃を検知しないと衝撃録画を開始しません。衝撃感度が低く設定されている可能性があります。 録画設定の「運転中衝撃検知感度」と駐車監視の「衝撃検知感度」を設定し直してください。
衝撃がないのに衝撃録画を開始してしまう	●センサーの衝撃感度が高く設定されている可能性があります。 録画設定の「運転中衝撃検知感度」と駐車監視の「衝撃検知感度」を設定し直してください。
録画したデータが消えている	●録画種類ごとの記録可能時間を超えると、古いデータから順に上書きされます。必要なデータはパソコンなどにバックアップしてください。
再生時に音声が出ない	●録画設定で「音声記録」が OFF になっている。 録画設定で「音声記録」を ON にしてください。 ●その他設定で「通知・再生・音声音量」が小さくなっている。 その他設定で「通知・再生・音声音量」を設定し直してください。
駐車監視時に最大時間よりも早く監視が終了する	●駐車監視オプションの電圧監視機能が作動した。 電圧監視オプションの設定値の変更、あるいは車両のバッテリー交換や充電をお試しください。
駐車監視時にドアを開閉すると dAction360 のロゴが表示される	●正しい常時電源線に接続しないと車両のキースイッチ OFF 後、一定の時間が経過した時やドアの開閉で車両の電圧が変化し、駐車監視オプションが正しく機能しません。一部の車種は、常時電源線の判別が難しく、誤った線に接続してしまうことがあります。 駐車監視オプションを接続する常時電源線を見直してください。

＜15＞

●microSD は、SD-3C、LLC の登録商標です。

●本製品は AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE に基づき、以下の場合のみライセンスされています。

1. 消費者の個人的利用や非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠した動画を録画する場合

2. 消費者の個人的利用や非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠して録画した動画を再生する場合

3. ライセンスされたプロバイダーが録画した動画を再生する場合

●ソフトウェアライセンス情報について
オープンソースソフトウェア (OSS) について
本製品には、オープンソースソフトウェア (OSS) が含まれます。
使用している OSS 一覧とライセンス文については以下に掲載しています。
https://daction.carmate.jp/support/pdf/web_oss_dc3600r_emk3600.pdf
GNU GPL/LGPL の適用ソフトウェアについて
本製品には、GNU General Public License (以下、GPL)、または、GNU Lesser General Public License (以下、LGPL) の適用を受けるソフトウェアが含まれています。
記載の GPL/LGPL の条項に従い、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
該当ソフトウェアのソースコード・パッケージは、ウェブサイトでご提供しております。
下記 URL からダウンロードしてください。
なお、ソースコードに関するお問い合わせはご遠慮ください。
https://daction.carmate.jp/support/oss/oss_dc3600r_emk3600.zip

使いかたや各種サポートについては、下記のコンテンツからもご確認いただけます。

ダクシオン 360 オフィシャル HP 内「サポート」→「FAQ」
<https://daction.carmate.jp/support/faq/dc3600r.html>

カーメイト AI チャットボット
LINE で 24 時間いつでも、どこでも気軽にお問い合わせいただけます。
※ LINE アプリのインストールが必要です。

株式会社 **カーメイト**
〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11
お問い合わせ ▶ カーメイトWebサイト【お客様サポート】

DC3600R

d'Action360

クイックガイド

詳しい取扱説明書は
こちら



- 必ずご使用前に本紙をよく読み、保管してください。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品の誤った取り扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

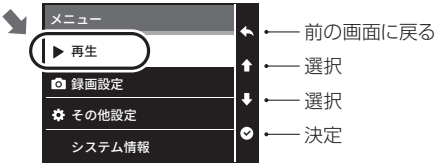
←1→

再生する

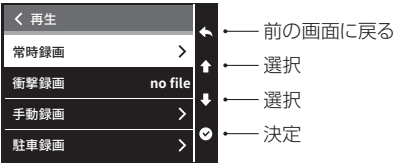
録画した映像は、メインカメラまたはスマートフォン、パソコンで再生できます。

メインカメラから

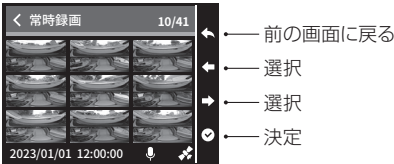
- ボタン 1 を押してメニュー画面を表示する。
- ボタン 2 / ボタン 3 で「再生」を選択し、ボタン 4 で決定する。



- ボタン 2 / ボタン 3 で見たい映像が入っている録画種類を選択し、ボタン 4 で決定する。



- ボタン 2 / ボタン 3 で見たいファイルのサムネイルを選択し、ボタン 4 で決定する。

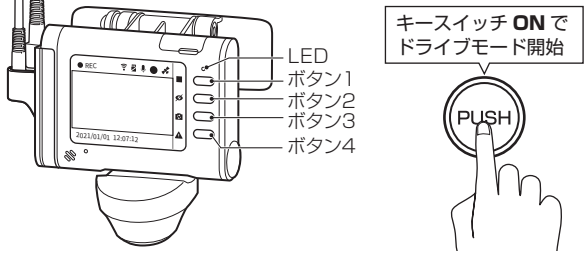


←5→

撮る【ドライブモードで撮る】

車両のキースイッチが ON の状態で録画するモードです。
キースイッチが ON になると自動で録画を開始し、LED が点灯します。

🔊 液晶画面の表示時間は変更できます。(初期設定は3分です。)



＜録画種類＞

常時録画	カメラの電源が入ってから切れるまでの映像
衝撃録画	ドライブモード中の衝撃検知前と検知後の映像
手動録画（前後）	ドライブモード中にボタン 4 を押した前後の映像
手動録画（継続）	ボタン 4 を押してから再度押すまでの映像

🔊 手動録画（継続）の機能を使うには設定変更が必要です。

🔊 常時録画と衝撃録画は、録画種類ごとの記録可能時間を超えると、古いデータから順に上書きされます。

＜ボタンの機能＞

ボタン 1	メニュー表示、前の画面に戻る、SD 取り出しモード（長押し）
ボタン 2	画面の表示／非表示の切り換え、選択項目を上に移動
ボタン 3	カメラ映像の切り換え、選択項目を下に移動
ボタン 4	手動録画の開始／終了、決定

←2→

スマートフォンから

- スマートフォンに専用アプリをインストールする。

🔊 専用アプリは無料です。下記 WEB サイトからダウンロードしてください。

ダクシオン 360 オフィシャル HP 内
「サポート」→「スマートフォン用アプリ&パソコン用ソフト
のダウンロード」
[https://daction.carmate.jp/support/app_pc/
dc3600r.html](https://daction.carmate.jp/support/app_pc/dc3600r.html)



- カメラとスマートフォンを無線 LAN 接続する。

🔊 手順は、別紙取り付けガイドの「スマートフォン接続手順」をご参照ください。



- 専用アプリを起動する。

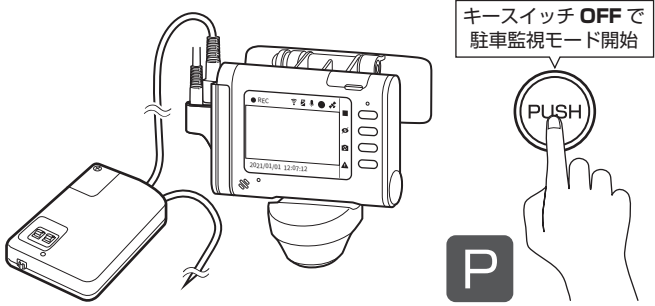
- 専用アプリの画面に従って、再生したいファイルを選択し、再生する。

←6→

撮る【駐車監視モードで撮る】

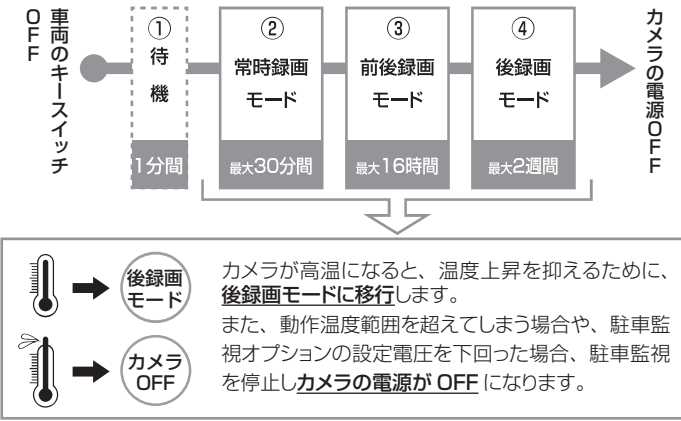
※ 別売の駐車監視オプション
(DC204) が必要

車両のキースイッチが OFF の状態で録画するモードです。
OFF にして約 1 分後（降車時衝撃録画非起動時間の初期設定）から、
駐車監視モードを開始します。



🔊 駐車監視時の録画モードは下記の順で動作します。

🔊 駐車監視の設定を変更すれば録画モードの順番を飛ばすことができます。



←3→

パソコンから

- パソコンに専用ソフトをインストールする。

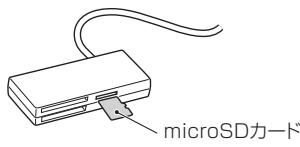
🔊 専用ソフトは無料です。下記 WEB サイトからダウンロードしてください。

ダクシオン 360 オフィシャル HP 内
「サポート」→「スマートフォン用アプリ&パソコン用ソフト
のダウンロード」
[https://daction.carmate.jp/support/app_pc/
dc3600r.html](https://daction.carmate.jp/support/app_pc/dc3600r.html)



- メインカメラから microSD カードを取り出し、市販のカードリーダーなどを使ってパソコンに接続する。

🔊 カメラを「SD 取り出しモード」にするか、カメラの電源を切ってから microSD カードを取り出してください。



- 専用ソフトを起動し、再生したいファイルが入っているフォルダを選択する。

- 専用ソフトの画面に従って、再生したいファイルを選択し、再生する。

⚠ カードリーダーなどが、ご使用の microSD カード規格・容量に対応していることを事前に確認してください。

⚠ 経年劣化など不具合のあるカードリーダーや変換アダプタを使用すると microSD カード内のデータが破損する場合があります。

←7→

＜録画種類＞

①待機 (降車時衝撃録画 非起動時間)	駐車常時録画	車両のキースイッチ OFF 後 1 分間の映像
②常時録画モード	駐車常時録画 駐車衝撃録画	常時録画モード中の映像 衝撃検知前と検知後の映像
③前後録画モード	駐車衝撃録画 (前後)	前後録画モード中の 衝撃検知前と検知後の映像
④後録画モード	駐車衝撃録画 (後)	後録画モード中の衝撃検知後の映像

🔊 駐車常時録画、駐車衝撃録画、駐車衝撃録画（前後）、駐車衝撃録画（後）は、録画種類ごとの記録可能時間を超えると、古いデータから順に上書きされます。

＜駐車監視時の録画モード＞

- ①待機（降車時衝撃録画非起動時間）
ドライバーが降車する際の振動で録画することを防ぐために、
車両のキースイッチ OFF 後 1 分間は衝撃を検知しません。
🔊 降車に時間がかかる場合は、5分間または10分間に変更が可能です。

- ②常時録画モード
駐車常時録画と駐車衝撃録画を行うモードです。
最大 30 分間動作します。

- ③前後録画モード
駐車衝撃録画（前後）のみを行うモードです。
最大 16 時間動作します。

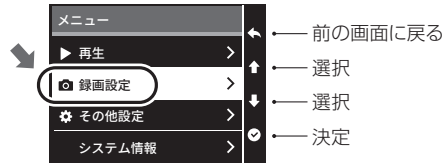
- ④後録画モード
駐車衝撃録画（後）のみを行うモードです。
最大 2 週間動作し、その後カメラの電源は OFF になります。

←4→

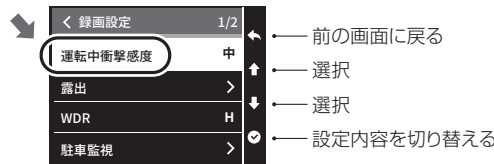
設定の変更方法

衝撃検知感度など、カメラの設定を変更できます。

- ボタン 1 を押してメニュー画面を表示する。
- ボタン 2 / ボタン 3 で設定を変更したいメニューを選択し、ボタン 4 で決定する。



- ボタン 2 / ボタン 3 で設定を変更したい項目を選択し、ボタン 4 で設定内容を切り替える。



←8→

microSD カードについて

別紙「安全にお使いいただくために」もお読みください。

⚠ カメラの電源が入っているときは、SD 取り出しモード以外では microSD カードの挿入／取り出しはしないこと。データ損傷や故障の原因となります。カメラの電源を切るか、SD 取り出しモードにしてから挿入／取り出しを行ってください。

SD 取り出しモード

- 録画画面でボタン 1 を長押しする。
- 下の画面が表示されたら microSD カードを取り出す。
🔊 ボタン 4 で「解除」を決定すると、常時録画画面に戻ります。



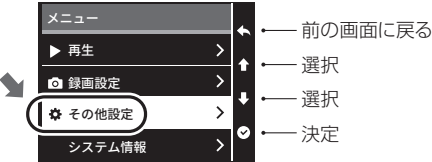
←9→

カメラのリセット

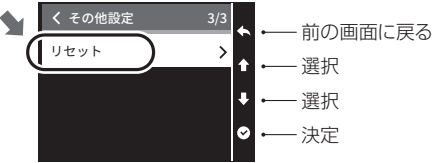
すべての設定値が初期化されます。

🔊 リセットをしても録画した映像は削除されません。

- ボタン 1 を押してメニュー画面を表示する。
- ボタン 2 ／ボタン 3 で「**その他設定**」を選択し、ボタン 4 で決定する。



- ボタン 2 ／ボタン 3 で「**リセット**」を選択し、ボタン 4 で決定する。



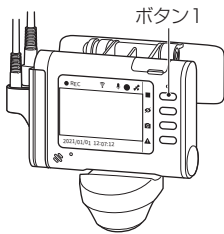
←13→

事故が起こったときは

事故発生時の録画データなど、重要なデータが上書きされないように、下記の手順でデータを保護してください。

⚠ 周囲の安全を確認してから作業すること。

- 下記のいずれかの方法でカメラの録画を停止させる。
 - 録画画面でボタン 1 を長押しして SD 取り出しモードにする。



電源ケーブルで接続している場合

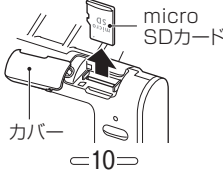
- 車両のキースイッチを OFF にする。
- カーンケットから電源ケーブルのプラグを抜く。

駐車監視オプションで接続している場合

- 駐車監視オプション本体の駐車監視スイッチを OFF にしたうえで、車両のキースイッチを OFF にする。

- microSD カードを取り出す。
取り出した microSD カードの取り扱いにご注意ください。

🔊 万が一に備えて予備の microSD カードを常備しておくことをお勧めします。



←10→

仕 様

メインカメラ	
撮像素子	1/2.3 型 フルカラー CMOS センサー
記録画素数	フロント映像：約 200 万画素 FHD 1920×1080 360 映像：約 90 万画素 960×960
画角	フロント映像：水平 86°垂直 50° 360 映像：水平 360°垂直 220°
F 値	2.2
フレームレート	27.5fps ／ 5.2fps（ドライブモード時） 13.75fps ／ 5.2fps（駐車監視モード時） ※高温動作時は自動でフレームレート変更
補正機能	WDR

リヤカメラ	
撮像素子	1/2.8 型フルカラー CMOS センサー
記録画素数	約 200 万画素 FHD 1920×1080
画角	水平 131°垂直 75°（対角 155°）
F 値	1.8
フレームレート	27.5fps ／ 5.2fps（ドライブモード時） 13.75fps ／ 5.2fps（駐車監視モード時） ※高温動作時は自動でフレームレート変更
補正機能	HDR

記録方式	ドライブモード時：常時録画、衝撃録画、手動録画 駐車監視モード時※：駐車常時録画、駐車衝撃録画 ※別売のオプション品が必要
録画ファイル単位	約 30 秒
ファイル形式	MOV（H.264）
GPS	あり
G センサー	あり
音声記録	あり（有効／無効の設定可能）
ノイズ対策	対応済み

←14→

ファームウェアのアップデート

仕様変更、機能追加などにより、カメラ本体のファームウェアがアップデートされることがあります。スマートフォンまたはパソコンからアップデートしてください。

スマートフォンから

- 専用アプリを起動し、アップデート通知があるか確認する

- カメラとスマートフォンを無線 LAN 接続する。

🔊 手順は、別紙取り付けガイドの「スマートフォン接続手順」をご参照ください。



- 専用アプリの画面に従ってアップデートする。

←11→

対応記録媒体	同梱の 32GB microSD カード、または当社オプション品（品番 DC3：32GB ／ 品番 DC4：64GB ／ 品番 DC5：128GB）
液晶仕様	2.4 インチ フルカラー液晶
外形寸法（マウント装着時）	メインカメラ：H103mm×W123mm×D73mm リヤカメラ：H59mm×W59mm×D38mm
重量（マウント装着時）	メインカメラ：210g リヤカメラ：62g
電源電圧	DC12V/24V（カメラ本体：DC5V）
最大消費電流（DC12V）	480mA
動作温度範囲	ドライブモード時：－10℃～＋40℃ 駐車監視モード時：－10℃～＋50℃
保証期間	3 年間

「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

パソコンから

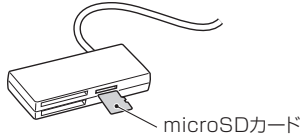
- 下記 WEB サイトより、最新のファームウェアファイルをダウンロードする

ダクション 360 オフィシャル HP 内
「サポート」→「ファームウェアダウンロード」
<https://daction.carmate.jp/support/firmware/dc3600r.html>



- ダウンロードされたファイル（zip 形式）を解凍する。

- メインカメラから microSD カードを取り出し、市販のカードリーダーなどを使ってパソコンに接続する。



- 手順 2 で解凍したファイル（firmware.bin）を、microSD カードの「FIRMWARE」フォルダに移動（コピー）する。

- ファイルの移動が完了したら、microSD カードを取り出してカメラ本体に戻す。

- 車両のキースイッチを ON にすると「ファームウェア更新中」と表示されるので、更新が完了するのを待つ。

←12→

- microSD は、SD-3C、LLC の登録商標です。
- 本製品は AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE に基づき、以下の場合のみライセンスされています。
 1. 消費者の個人的利用や非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠した動画を録画する場合
 2. 消費者の個人的利用や非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠して録画した動画を再生する場合
 3. ライセンスされたプロバイダーが録画した動画を再生する場合
- ソフトウェアライセンス情報について
オープンソースソフトウェア（OSS）について
本製品には、オープンソースソフトウェア（OSS）が含まれます。使用している OSS 一覧とライセンス文については以下に掲載しています。
https://daction.carmate.jp/support/pdf/web_oss_dc3600r_emk3600.pdf
GNU GPL/LGPL の適用ソフトウェアについて
本製品には、GNU General Public License（以下、GPL）、または、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）の適用を受けるソフトウェアが含まれています。記載の GPL/LGPL の条項に従い、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
該当ソフトウェアのソースコード・パッケージは、ウェブサイトでご提供しております。下記 URL からダウンロードしてください。
なお、ソースコードに関するお問い合わせはご遠慮ください。
https://daction.carmate.jp/support/oss/oss_dc3600r_emk3600.zip

🔊 使いかたや各種サポートについては、下記のコンテンツからもご確認いただけます。

ダクション 360 オフィシャル HP 内
「サポート」→「FAQ」
<https://daction.carmate.jp/support/faq/dc3600r.html>



カーメイト AI チャットボット
LINE で 24 時間いつでも、どこでも気軽にお問い合わせいただけます。
※ LINE アプリのインストールが必要です。



株式会社 **カーメイト**

〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11

お問い合わせ ▶ カーメイトWebサイト【お客様サポート】



←15→